

科目	事業構想論	担当	内藤 孝紀	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

現代社会は、少子高齢化、環境破壊、農村地域の過疎化、都心部の空洞化、経済のグローバル化に伴う中小企業の衰退といった、さまざまな問題を抱えている。こうした社会状況のなか、人々の豊かなライフスタイルを実現するための事業構想が求められている。そこで事業構想論では、事業システムに関する知識や技術を体系的に学び、新しい時代における各種事業を総合的に創造する力を育むことを目標とする。

**【履修注意】**

女性キャリアマネジメントコースのコース必修科目である。

**【評価方法】**

課題の提出(20%)、定期試験(80%)

**【試験について】**

定期試験を実施する。再試験は原則として実施しない。

再試験対象者の条件：公欠、病気、事故など特別の事情がある場合

**【予習・復習】**

講義で学ぶ内容を身につけるために復習を重視し、その知識をもとにして新聞や文献を積極的に読む。

**【教科書】**

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	イントロダクション	事業構想と事業システムの関係
2	事業システムとは	事業システムの意味、事業の差別化・成熟化
3	事業システムの博物学Ⅰ	衣料品、レストランの事業システム
4	事業システムの博物学Ⅱ	住居、娯楽の事業システム
5	事業コンセプトⅠ	事業コンセプトの設定、役割分担、情報の流れ
6	事業コンセプトⅡ	環境の分析、戦略、競争要因
7	事業コンセプトⅢ	資源の分析、戦略、資源の価値
8	事業コンセプトⅣ	事業コンセプトの実例、事業の定義
9	顧客ニーズⅠ	マーケット・セグメンテーション、実施方法
10	顧客ニーズⅡ	マーケット・セグメンテーション、コスト管理
11	顧客価値	顧客の「片付けるべき用事」、システム経済性
12	事業システムの設計原理Ⅰ	規模の経済、生産・購買のメリット
13	事業システムの設計原理Ⅱ	範囲の経済、組合せの価値
14	事業システムの設計原理Ⅲ	速度の経済、集中化と外部化の経済
15	事業システムの課題	今後の課題と展望
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ